

forum かわあばん

発行：(一社)福井県建築士会 〒910-0854福井市御幸3-10-15(福井県建設会館) TEL(0776)24-8781/FAX(0776)24-9570
登録番号：T1210005000262 E-mail: info@fukuiken-kenchikushikai.or.jp HP: https://www.fukuiken-kenchikushikai.or.jp

令和8年度 監理技術者講習 開催のお知らせ



本講習は公益社団法人日本建築士会連合会が国土交通省より「監理技術者講習」の登録講習機関の認可を受け、福井県建築士会が開催するものです。右記の日程表のとおり開催します。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の建築工事分野でご活躍されている監理技術者を対象に、実務に役立つ充実した内容の講習を行いますので、この機会に多くの建築施工系監理技術者の受講をお願いします。

◆令和8年度監理技術者講習 日程表

開催地	開催日		
福井	4月8日(水)	6月3日(水)	8月5日(水)
	10月7日(水)	12月2日(水)	2027年2月3日(水)
敦賀	6月24日(水)	10月28日(水)	

福井会場/第2演習室(定員12名) 敦賀会場/会議室(定員15名)

土木系の監理技術者の
受講も可能です。

◆会場所地

【福井会場】福井県中小企業産業大学校
(福井市下六条町16-15)
【敦賀会場】プラザ萬象(敦賀市東洋町1-1)

受講申込：随時行っています。

受講料：テキスト・講習修了ラベル代込、税込

・WEB申込み…9,500円/1名 ・郵送・窓口申込み…10,000円/1名

講義の内容：DVDによる講義+修了試験(計360分)行います。

申込み方法：日本建築士会連合会のホームページで「監理技術者講習」の申込ページをご覧ください。

<https://www.kenchikushikai.or.jp> ※企業一括申込み(2名以上)が可能です。詳しくは下記まで電話下さい。

問合せ先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

建築士会が行う監理技術者講習の特色▶①建築に特化した実務に役立つ講習 ②わかりやすく利便性の高いテキスト使用 ③建築士会CPD単位6単位の付与
④上記以外に建築士会CPD制度加入者の方は建築士会連合会のWEB問題回答でのCPD単位(2ヶ月に一度3単位取得可能年間最大18単位)が受講後5年間取得可能となります。

令和7年度 福井県被災建築物応急危険度判定士認定講習会 ご案内



平成7年に発生した阪神・淡路大震災を機に、応急危険度判定が全国で初めて実施され、余震等による二次災害の防止に大きな効果を挙げました。

この成果をうけ、全国的に被災建築物応急危険度判定制度の整備が進められ、福井県においても、地震による建築物の被害から県民の安全を確保するため、平成7年から応急危険度判定士の養成に努めてまいりました。

昨年1月に発生した令和6年能登半島地震では福井県から約60名の判定士を派遣しました。現在、1,000人を超える建築士の方が判定士として認定されていますが、今後も県内に限らず、県外においての活動も求められることが考えられます。

建築士の皆様方には、是非、本講習会を受講され応急危険度判定士の認定申請をしていただきますようお願いいたします。

1. 講習会開催日程等

CPD 2単位

開催日	会場名	定員	開催時間
令和8年 3月16日(月)	福井県建設会館 4階 大会議室 (福井市御幸3丁目10番15号)	70名	14:30~16:20 (受付14:00~)

※会場駐車場が少ないため、できるかぎり公共交通機関の利用をお願いします。

時間	講習内容
14:30~14:35	開会挨拶
14:35~16:20	1. 応急危険度判定制度について 2. 応急危険度判定基準について 3. 応急危険度判定の演習等

2. 受講料 無料

3. 受講資格・受講申し込み等

受講資格	次の①~③のいずれかに該当する方 ①県内に在住または勤務する建築士(一級・二級・木造)で、判定士として登録する意思のある方 ※ボランティアとして、被災地での活動に参加できる方に限ります。 ②福井県被災建築物応急危険度判定士 ③行政職員
申込受付期日	3月9日(月)必着 なお、定員になり次第締め切ります。
申込提出方法	申込フォームよりお申込みください。→ https://forms.gle/fnbChVuTGfXdHkKg9 
認定に必要な持参物	★新規・更新登録には下記のものがが必要です。 受講の際に必ず持参してください。 ①受講票 (FAXによる申込の場合は受付印のあるものがFAXにて返送されます。申込フォームによる申込の場合は受付完了メールにて送られます。) ②身分証明書の写し(運転免許証または住民票等) ③建築士免許証の写し ④写真1枚(縦3cm×横2.5cmで無帽・正面・上半身・カラーで6か月以内の撮影。写真裏面に氏名を記入)

4. 問い合わせ先：一般社団法人 福井県建築士会

〒910-0854 福井市御幸3丁目10-15 福井県建設会館内2階
TEL: 0776-24-8781 FAX: 0776-24-9570

- 国土交通省が取り組んでいるBIMデータを活用した「BIM図面審査」制度及びそれを実現するためのツールである「BIM図面審査・建築確認用CDE」に関する説明会(11月27日)の動画、配布資料等がICBA(建築行政情報センター)のHPに公開されています。
- 「大臣認定を取得した耐火火構造の外壁等について認定仕様に記載のない断熱材を充てんして建築することに関する注意点について」(R7.6.30付け国住指第150号、国住参建第1574号に関するQA)日本建築士会連合会HPの新着情報(R7.11.28)に掲載されています。
国土交通省 HP : https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_fr_000186.htmlもご参照ください。
- 国土交通省から「みらいエコ住宅2026事業」の紹介がありましたので、ご参照ください。日本建築士会連合会HPの新着情報(R7.11.28)に掲載されています。
URL https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000310.html

【定期報告の必需品】

風速計、CO₂測定器等貸出

会員 1,000円/日・非会員 3,000円/日

建築設備の定期報告に必要な、風速計(熱線式)、照度計、CO₂測定器、非常灯引張棒の4点セットを会員特典付きにて、貸出開始致します。器具は全て日本製ですので安心して使用可能です。

利用の際は、建築士会福井支部事務局へお問い合わせ下さい。

TEL 0776-24-8781



本会主催：戦後初のコンペ「専用住宅設計図案顕彰募集1952」
本会初代会長 吉田宏彦 没後40年と「福井県戦後建築史」(下)

日本近代建築界でのコンペ(設計競技)の歴史は、大都市部における明治期の「公共建築」から大正・昭和初期の「住宅」へと中心テーマが変遷する特色について、建築史家・近江栄が既に指摘している(博士論文：日本における競技設計の成立と展開 1970)。なお地方都市で最も早くコンペを開催したのが、福井県

であることを知る人は少ないであろう。1936(昭和11)年に福井県と福井高等工業学校(吉田宏彦)による「農村住宅改善」顕彰設計は全国から秀逸な85作品も応募があり、地方コンペの嚆矢となった。

こうした背景から戦後福井初のコンペが、1957(昭和27)年5月の建築士会・第1回総会後、「専用住宅」をテーマに3ヶ月の応募期間(8~10月)で実施された。県内の建築士から全18作品が集まり、審査員7名(吉田宏彦・五十嵐直雄・乾馨・伊藤貞など)で以下の入賞者10名が決定した。11月20日に福井市建設業協会にて表彰式が挙行され、吉田会長から入賞者に賞状と賞金が授与された。

入賞者の顔ぶれを見ると、その後の福井建築界を担った人物ばかりであり、戦後初のコンペが果たした歴史的意義を考えざるを得ない。ただ入賞した図面の記録が無くて残念である。さらに第2回「店舗併用住宅」、第3回「新時代の公衆浴場」、第4回「①児童図書館 ②アトリエを持つ建築家の住宅」と毎年継続したのであるが、こうした戦後から近年までの県内コンペ動向に関しては、後日機会をみて報告したい。福井県建築士会を拠点に始動した戦後建築の歩みには、まだまだ魅力的な脈が幾つも潜んでいる。 市川秀和(福井工業大学)

福井県の戦後初のコンペ
上位入賞者



仙坊 光男



品川二三男



上川 禎彦



石川 波平

【募集規定】

設計の要旨：本県の特殊事情を考慮し、健康・文化的かつ進歩的なものを望む
区 分：住居地域に建つ専用住宅
家族構成：夫婦 子供2人
敷 地：東西15m×南北18m、北側6m道路あり
建物の坪数：延80㎡ 構造：自由

【要求事項】

配置図、平面図、立面図、外観透視図、設計概要等

【入賞者10名】

出典：会誌第1.2号(1952-53)

- 1等：仙坊 光男 (アルス建築事務所)
- 2等：品川二三男 (伊藤建築事務所)
上川 禎彦 (伊藤建築事務所)
- 3等：石川 波平 (清水建設・福井出張所)
園山 崇 (熊谷組)、村田 貢 (福井大学)
- 佳作：天谷 新 (中谷建築事務所)
荒井 健二 (アルス建築事務所)
渡辺 三郎 (福井県)、寺西 礼一 (福井大学)